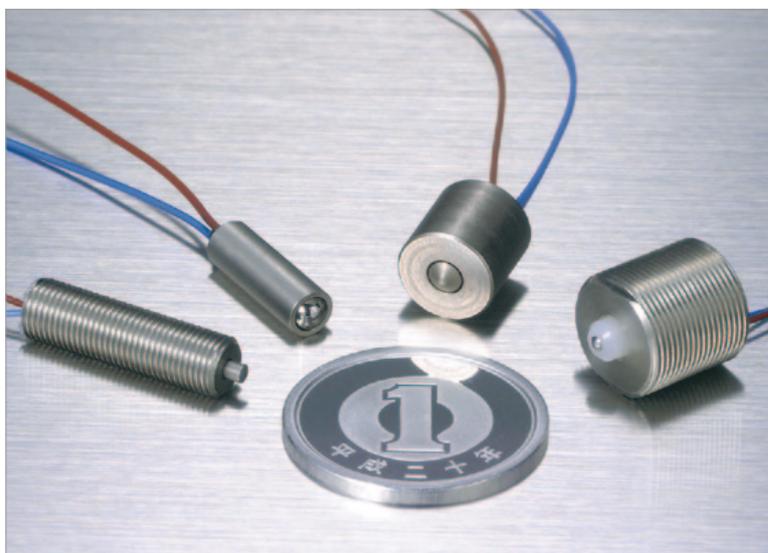


日本クリエイション賞

“精密位置決めスイッチ”で世界トップ

株式会社メトロール



世界最小級の「精密位置決めスイッチ」



東京都立川市にある株式会社メトロール



従業員の大半を女性が占め、全社員で自分の仕事に自信と誇りを持てる生産環境を作り出している

東 東京都立川市にある株式会社メトロールは、部品や金型を削り出すCNC工作機械の工具位置をコントロールする制御装置“精密位置決めスイッチ”で、世界トップクラスのシェアを誇る。

「電気式」が当たり前だった制御スイッチ業界で、世界で初めて「精密機械式」のスイッチを開発。切削油や金属切粉が飛び散る、工作機械内の過酷な悪環境において、300万回使用しても生じる誤差は2000分の1ミリ以内という高精度な検知で、工具の切先をコントロール、機械の稼働率向上と精密加工に貢献した。

その後も、世界最小級の「精密位置決めスイッチ」、空圧式「密着確認センサ」など、オリジナリティが高く、世界でも他に例を見ない

工業センサを次々とみ出し、工作機械のみならず、半導体製造装置、自動車の生産ライン、ロボット、医療用機器、エレベーターのディスクブレーキなどに採用され、産業機械の高性能化、小型化に貢献してきた。現在、同社が製造しているスイッチ・センサのラインナップ数は約1000種類に及ぶという。

販売においては、電子決済ができる多言語のHPを構築し、海外展示会にも積極的に出展、独自の技術・製品を広く世界にPR。64カ国以上の企業と直接取引し、メイドイン ジャパンの高い信頼性の名のもとに、日本の工場から国際宅急便で直送している。

生産財の工業センサメーカーというと、「男の職場」をイメージするが、約120名の従業員の大半を女性が占め、完製品在庫を持たな

い多品種少ロット・短納期の受注生産を支えている。

メトロールの標準的なスイッチ1個は、約20点のオリジナル部品で構成されている。総数1万点にのぼる精密部品の組み合わせで、1000種類もの完製品が作られる。それを流れ作業による分業ではなく、一人ひとりが組立、中間検査、包装まで責任をもって完成させる「一個流し」と言われる製造方法で生産。パート社員も含め全社員が、年間1300件にも及び改善提案を行い、自分の仕事に自信と誇りを持てる生産環境をつくり出し、これを支えているのだ。

これからの日本が世界に誇るモノづくり企業のあり方が、ここにある。